

Live for garden island

# 下蒲刈 ガーデンアイランド〈庭園の島〉 地域まちづくり計画



～歴史と伝統文化を次世代に  
故郷を愛せるまち「しもかまがり」～



平成27年12月9日 改訂

下蒲刈まちづくり協議会

# 目 次

1. 計画策定の趣旨	3
2. 私たちのまち「下蒲刈」の再認識	3
(1) 位置・特性	
(2) 歴史	
(3) 主な文化・観光施設等	
(4) 人口・世帯・自治会・教育機関	
(5) 長所「宝」	
3. これまで進めてきたまちづくりの特色	6
(1) 「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」 に基づくまちづくり	
(2) エリア別まちづくりの特色 ・下島地区 ・三之瀬地区 ・大地蔵地区	
4. 安芸灘諸島に期待される役割	8
5. 私たちのまちの実状と課題	9
6. まちの将来像“スローガン”	10
7. まちづくりの方針（振興方針・活動方針・活動内容）	11
(1) 振興方針と活動方針	
① 文化と歴史の継承と観光色あふれるまちづくり	
(I) 伝統文化継承の充実	
(II) 観光振興・地域PRの充実	
② みんなで支え合い、心豊かに暮らせるまちづくり	
(I) 環境衛生美化の充実	
(II) 芸術文化・生涯活動の充実	
(III) 緑化推進の充実	
(IV) 世代間交流	
③ 健康で安心して住み続けられる社会環境と福祉のまちづくり	
(I) 健康づくりの充実	
(II) 高齢者福祉の充実	
(III) 交通事故の防止と安全対策の充実	
(IV) 防犯対策の充実	
(V) 防災対策の充実	
(2) 計画体系図	
(3) 活動内容（事業別）	
8. 各種団体一覧	25

## 1. 計画策定の趣旨

「市民協働のまちづくり」を進める呉市では、平成20年度、「ゆめづくり地域協働プログラム」を策定し、それぞれの地域で、住民自らが地域の歴史や文化の再発見、地域資源の保全など、実状や課題を話し合い、その具体的な解決策や振興策など地域の将来像を盛り込んだ地域まちづくり計画を策定することを支援し、その計画に沿った特色ある自主的なまちづくりを推進しています。



これを受けて、下蒲刈地区では、まちづくり協議会が中心となり、これまで進めてきた「文化と歴史の掘り起こし」や「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」に基づくまちづくりを再認識し、当地区が抱える課題の解決に向け、取組や役割を盛り込んだ計画を策定し、まちづくりの方向性をより一層はっきりさせていきます。

## 2. 私たちのまち「下蒲刈」の再認識

### (1) 位置・特性

- ◇北に川尻町，東に蒲刈町，西に音戸町・倉橋町とそれぞれ海を挟んで隣接し，南には遠く四国連峰を臨む四方を海に囲まれた島。
- ◇広島県の南端，仁方町の南東海上約5kmに位置し，下蒲刈島と上黒島，下黒島，ヒクベの島々から成る総面積8.71Km<sup>2</sup>の町。
- ◇急傾斜地と瀬戸内海式の温暖な気候を利用し，基幹農作物として，かんきつ類（みかん，レモンなど）やイチゴの栽培に適している。
- ◇近年まで離島として厳しい立地条件にあったが，平成12年1月に「安芸灘大橋」が完成したことにより，住民の利便性が向上した。また，同時に観光地としての需要も高まり，地域の活性化にも繋がった。さらに平成20年11月には，豊島大橋が開通して四島（下蒲刈島，蒲刈島，豊島，大崎下島）が陸続きになり，安芸灘とびしま海道の玄関口となった。



## (2) 歴史

- ◇中世頃、瀬戸内海の交通・交易が盛んで、多賀谷水軍が勢力を持ち、丸屋城を築くなど、往来船舶の停泊地として栄える。
- ◇江戸時代、三之瀬に本陣・番所・茶屋が整備され、参勤交代の西国大名の船、朝鮮・琉球・オランダ等の使節団が立ち寄るなど大繁栄する。
- ◇善隣友好使節団である朝鮮通信使の寄港地（12回来日したうち11回立ち寄ったといわれる）として、歴史と伝統を持つ由緒ある町として知られている。
- ◇明治24年、上蒲刈島村が分村し、向地区を含めて下蒲刈島村として発足、その後、向村が分村、昭和37年には、町制施行により下蒲刈町となった。平成15年呉市と合併し、呉市下蒲刈町として現在に至る。



## (3) 主な文化・観光施設等

- ◇観瀾閣 ◇福島雁木 ◇侍屋敷 ◇三之瀬御本陣芸術文化館 ◇蘭島閣美術館
- ◇蘭島閣美術館別館 ◇白雪楼 ◇姫ひじき塩づくり体験施設
- ◇松濤園（陶磁器館、御馳走一番館、あかりの館、蒲刈島御番所） ◇昆虫の家
- ◇朝鮮通信使記念庭園 ◇貝と海藻の家 ◇コテージ梶ヶ浜 ◇梶ヶ浜海水浴場
- ◇梶ヶ浜キャンプ場 ◇大平山公園 ◇白崎園

## (4) 人口・世帯・自治会・教育機関（平成27年3月現在）

- ◇総人口 1,582人（男762人、女820人） 807世帯
- ※平成21年3月の人口 1,898人

### ◇年齢階層別人口構成

年少人口（15歳未満） 92人 生産年齢人口（15～64歳）763人  
老年人口（65歳以上）727人 平均年齢 57.4歳（※呉市 48.6歳）

### ◇自治会 全3自治会

三之瀬自治会（全7地区 232世帯）  
下島自治会（全8地区 337世帯）  
大地蔵自治会（全5地区 177世帯）

### ◇教育機関（平成27年4月現在）

中学校1校（下蒲刈中学校） 全校生徒数 20名  
小学校1校（下蒲刈小学校） 全校児童数 47名



## (5) 長所「宝」

◇瀬戸内海国立公園固有の多島海による風光明媚な自然と、島内に点在する松並木の景観との調和が美しい。

◇長期にわたって下蒲刈の歴史を研究し、郷土文化を掘り起こすと同時に、全島庭園化事業「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを推進してきた。

◇地域の文化、風土を尊重した日本庭園や日本建築に一貫してこだわっており、中でも蘭島閣美術館前の石畳舗装に松を配する庭園風景は下蒲刈を代表する景観である。



◇わずか二千人足らずの島に、立派な文化施設や美術品、朝鮮通信使を紹介する施設は全国的にも希少である。

◇町内を巡回する生活路線バスが1日11便あり、児童・生徒の通学や高齢者の移動手段として利用されている。

◇地区内数カ所に\*中水の取水場を設け、農業用水や灌水時の水として常時無料で利用できる。\*中水とは上水として生活用水に使った水を下水道に流すまでもう一度再利用する水をいいます。

◇伝統的なみかんの栽培。その歴史は古く、始まりは、約450年前とされている。現在、みかん畑にある木々は、昭和28年～30年にかけての、みかんブームの時代に植えられたものである。

◇歴史的には、海上交通の盛んなころの自負心と活力、それに「朝鮮通信使」使節団を友好的にもてなした「ホスピタリティ文化」が根付いている。



### 3. これまで進めてきたまちづくりの特色

#### (1) 「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくり

平成2年より「文化と歴史の掘り起こし」と、瀬戸内の豊かな自然と日本の伝統文化を活かした全島庭園化事業「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを推進することで、魅力あるまちの実現を目指している。

具体的には、下蒲刈の文化・歴史、特に朝鮮通信使を大きな柱とした町づくり、蘭島閣美術館、音楽会を中心とした芸術面での人づくり、「松」を中心とした景観づくりがある。

これらのまちづくりは、住民と行政との協力によって進められた官民一体のまちづくりであった。



#### 「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」に基づくまちづくりとは？

本構想は、自然破壊なしで「地域振興」「生活環境整備」「観光振興」「自然と文化と歴史的環境の質的向上」を実現することを目的としています。

具体的には、ガーデニングの方法を活用した“庭園の島づくり”を進めることで、地域の生活環境整備がさらに進み、住民にとって真に下蒲刈島がプライド・オブ・プレイス（Pride of Place、地域への誇り）と感じられるようになります。その結果、住民自身“わが島・わが町意識”を高め、島内の環境整備や景観創出事業にも参加することになります。

このようにして島が美しく、活気に満ちてくれば、当然、島外の人々は、一度は訪れてみたい島・町となっていくのです。

※参考：平成19年の一年間に下蒲刈を訪れた観光客数は約8万5千人に



## (2) エリア別まちづくりの特色

下蒲刈町は3つの地区（自治会コミュニティ）で組織され、地域性を活かした特色あるまちづくりが行われています。

### 下 島 地 区

#### 海と文化と歴史エリアの玄関口及び良好な居住環境ゾーン

- ◇安芸灘とびしま海道の玄関として、瀬戸内の自然環境と松を調和させた町並みで、訪れる人の心を和ませる。
- ◇農業生産基盤を整備し、基幹作物であるかんきつ類などを生かした特産品の開発や農業体験などの多様なソフトが充実している。
- ◇農業集落としての特性を生かしながら、海辺の快適な居住空間の形成を目指している。



### 三 之 瀬 地 区

#### 瀬戸内海の文化・迎賓拠点及び保健・医療サブ拠点ゾーン

- ◇蘭島閣美術館や松濤園など、既存の文化施設機能の充実を図り、呉市における海辺の文化・迎賓拠点としての役割を担っている。
- ◇公立下蒲刈病院など、安芸灘4島の保健・医療のサブ拠点として機能の充実を図るとともに、市民センター等の行政機能を充実させた地域密着型のサービスを行っている。



### 大 地 蔵 地 区

#### 漁業・農業の振興及び海辺の良好な居住環境ゾーン

- ◇豊かな自然環境と観光資源としての漁業、農業を生かした多様なソフトの充実、特産品の開発、加工などの事業を展開している。
- ◇梶ヶ浜海水浴場、キャンプ場、コテージ等を中心としたマリン・レクリエーション施設の充実と活用を図るとともに、姫ひじき塩づくり体験施設を体験学習の場として提供している。
- ◇大地蔵並木（道路片を青石で囲んだクロマツ並木）が約四百メートルも続き、海辺の快適な景観として魅力を打ち出している。



#### 4. 安芸灘諸島に期待される役割

平成12年に安芸灘大橋が、平成20年11月には安芸灘諸島連絡架橋3号橋（豊島大橋）が開通したことにより、安芸灘諸島が陸続きとなった。定住機能の確保と島しょ部の活性化を図るため、下蒲刈町は、安芸灘地域の玄関口に当たる地域として、本地域の行政機能の充実を図るとともに4島の保健・医療のサブ拠点として公立下蒲刈病院などの医療施設の充実が期待されている。

また、蘭島閣美術館、松濤園などの文化ゾーンを始めとした瀬戸内海の文化と歴史を生かし、呉市の瀬戸内迎賓エリアとして、地域発展と観光振興が期待されている。



## 5. 私たちのまちの実状と課題

少子高齢化が著しい中、平成12年の安芸灘大橋の開通後も、人口の流出、若者の町外への移住傾向は続き、町内の高齢化、過疎化はさらに進んでいる。地域力の低下をはじめ、支援や介護を必要とする人の増加、地元産業を支える後継者不足など多岐に渡ってその影響がでている。

また、地域コミュニティ活動においても、まちづくりを担うリーダーが、多団体の役員を重複していることが多いため、集いの目的は異なるが、集うメンバーは固定されている。このことは、役員の兼任や留任の原因にもなり、団体の高齢化に繋がっている。今後、若者の地域活動への参加を促す意味でも、団体のあり方や活動内容を見直す必要が生じている。

このような、地域課題の解決に向けて、自治会を中心とした組織や団体が連携し、住民とともに地域力を強めていくまちづくりが必要になっている。



## 6. まちの将来像 “スローガン”

下蒲刈町は、これまで地域住民の大きなチャレンジ精神をもって、美しい天与の自然、文化・歴史を掘り下げながら、島を庭園のように創りあげてきました。

先人が築いてきた文化・歴史・自然、人々の体験などが若い世代に受け継がれ、住民が愛着と誇りを持って住み続けたいと思えるような魅力あるまちづくりを目指していくため、平成21年3月、まちづくり協議

会は、まちの将来像を“歴史と伝統文化を次世代に 故郷を愛せるまち「しもかまがり」”と決めました。



～歴史と伝統文化を次世代に

故郷を愛せるまち「しもかまがり」～



## 7. まちづくりの方針（振興方針・活動方針・活動内容）

### （1）振興方針と活動方針

「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを基軸としたまちの将来像「歴史と伝統文化を次世代に 故郷を愛せるまち“しもかまがり”」を実現するために、効果的と考えられる振興方針を以下の3つに整理しました。実施に当たっては、基本的に地域住民（各種団体）が主体となり、行政と連携して取り組んでいきます。

これらの振興方針は、平成21年度から10年後の地域の姿をイメージし、各事業を展開していきます。

#### ①文化と歴史の伝承と観光色あふれるまちづくり

##### （Ⅰ）伝統文化継承の充実

- i. とんど祭り      ii. 朝鮮通信使再現行列

##### （Ⅱ）観光振興・地域PRの充実

- i. 梶ヶ浜ビーチフェスタ      ii. 観光PR
- iii. 地域の活力を引き出すイベントの開催



#### ②みんなで支え合い、心豊かに暮らせるまちづくり

##### （Ⅰ）環境衛生美化の充実

- i. 公衆衛生の推進

##### （Ⅱ）芸術文化・生涯学習の充実

- i. 町民文化祭      ii. 芸術文化の祭典

##### （Ⅲ）緑化推進の充実

- i. 植樹・樹木管理

##### （Ⅳ）世代間交流

- i. 成人式      ii. 子ども祭り



#### ③健康で安心して住み続けられる社会環境と福祉のまちづくり

##### （Ⅰ）健康づくりの充実

- i. 健康づくりの推進

##### （Ⅱ）高齢者福祉の充実

- i. 敬老会

##### （Ⅲ）交通事故の防止と安全対策の充実

- i. 交通安全の推進

##### （Ⅳ）防犯対策の充実

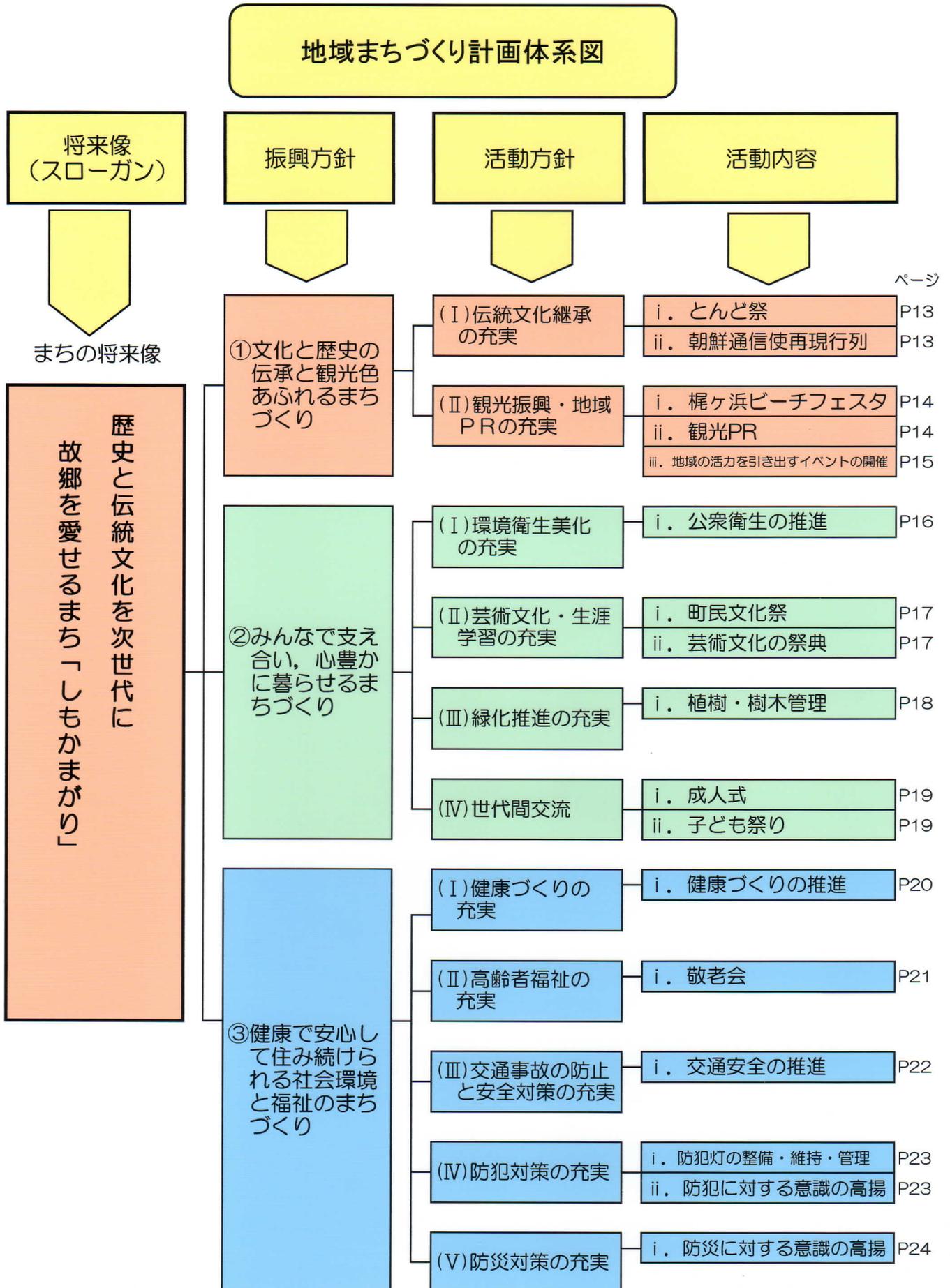
- i. 防犯灯の整備・維持・管理      ii. 防犯に対する意識の高揚

##### （Ⅴ）防災対策の充実

- i. 防災に対する意識の高揚



(2) 計画体系図



### (3) 活動内容（事業別）

振興方針 ① 文化と歴史の伝承と観光色あふれるまちづくり

#### (I) 伝統文化継承の充実

##### i. とんど祭（下島・三之瀬・大地蔵）

主 体	時 期（1月）
下蒲刈まちづくり協議会 下蒲刈地区とんど祭り実行委員会	
内 容	
3地区がそれぞれの会場で「とんど」を組み立て、同日同時刻に点火を行う。消防団による火気警戒が行われる他、会場では、竹つき餅を焼いたり女性会による甘酒の振る舞いが行われている。	
課 題	対 策
地域住民がより多く参加し、安全にできるよう取り組む必要がある。	とんど実行委員会が全体の企画調整を行い、各自治会が消防分団、女性会等と連携を図り地区別に実施する。広報活動には、保育所・小中学校の協力を図る。

##### ii. 朝鮮通信使再現行列

主 体	時 期（10月）
蘭島文化振興財団 朝鮮通信使行列保存会	
内 容	
鎖国の時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」が来日した際、幕府から「御馳走所」に指定された下蒲刈は、広島藩を挙げての大歓迎を行った。この朝鮮通信使が立ち寄った際の行列を再現することで地域の歴史の掘り起こしと、日韓友好を目的とする。行列には、町内外から多くの参加がある。	
課 題	対 策
地域住民の高齢化などの諸事情による参加者数の減少。人員確保が年々困難になっている。	下蒲刈の代表的文化イベント「朝鮮通信使再現行列」の継続実施のため、地域住民及び各種団体の協力、連携を一層図る。

## (Ⅱ) 観光振興・地域PRの充実

### i. 梶ヶ浜ビーチフェスタ（海開き）

主 体	時 期（7月）
梶ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会	
内 容	
美しい砂浜で有名な梶ヶ浜ビーチを幅広くPRするとともに、地域住民の交流の場として、小中学生によるイベントや、地域団体等による出店などを行っている。	
課 題	対 策
下蒲刈町ひいては呉市の恒例行事でもある当事業を継続していくため、地域住民・団体の協力を強く呼びかけ、連携を図る必要がある。	

### ii. 観光PR

主 体	時 期（通年）
下蒲刈まちづくり協議会 蘭島文化振興財団	
内 容	
観光パンフレットや観光案内板を整備するほか、ホームページを活用し下蒲刈の見所を紹介する。	
課 題	対 策
観光客のニーズに合致した情報発信を行うことが求められる。 また、ホームページでは、イベント情報をタイムリーに公開、更新する必要がある。	下蒲刈の魅力をも十分に吟味したうえで発信方法を検討し、ホームページについては、「安芸灘とびしま海道連携推進協議会」等の広域的な観光案内も活用していく。

(Ⅱ) 観光振興・地域PRの充実

iii. 地域の活力を引き出すイベントの開催

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈まちづくり協議会	
<p data-bbox="403 443 504 479">内 容</p> <p data-bbox="137 490 751 663">平成27年度に地元の素材・産品を用いた草木染めや石窯ピザを活用したイベント「とびしマーレ」を行うなど、地元産品のPRや地域が元気になる様々なイベントを行っている。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="137 882 746 952">観光振興や地元産品PRなどのイベントを継続して行う必要がある。</p>	

## (I) 環境衛生美化の充実

### i. 公衆衛生の推進

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈地区公衆衛生推進協議会	
<p data-bbox="419 443 520 477">内 容</p> <p data-bbox="137 490 751 591">地域住民による町内全域清掃，消防団による側溝清掃，小中学生による梶ヶ浜清掃等を行っている。</p> <p data-bbox="137 593 751 734">その他，雨期から夏期にかけて定期的な生活道路の除草や，病虫害駆除事業として女性会がゴキブリ団子を作り町内配布するなど，公衆衛生の推進に努めている。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="137 884 746 952">地域住民がより多く参加できるよう取り組む必要がある。</p>	<p data-bbox="778 884 1393 985">下蒲刈地区公衆衛生推進協議会が中心となり「町内クリーン作業」の広報，参加協力を広く求める。</p>

## (Ⅱ) 芸術文化・生涯学習の充実

### i. 町民文化祭

主 体	時 期 (11月)
下蒲刈町文化協会 下蒲刈町民文化祭実行委員会	
<b>内 容</b> 文化協会が実行委員会を立ち上げ、文化の日に実施している。日本舞踊などの芸能発表、書道、絵画を中心とした展示発表、茶道団体によるお茶のおもてなしがある。文化活動団体に発表の場を与えるとともに、地域の文化活動を広く周知し、地域住民の生涯学習参加へのきっかけづくりを目的としている。	
課 題	対 策
人口減・高齢化により担い手・参加者の数が減ってきている。	下蒲刈町文化協会が中心となり、より多くの住民が参加、来場できる文化祭を企画運営する。

### ii. 芸術文化の祭典

主 体	時 期 (通年)
蘭島文化振興財団 蘭島閣ギャラリーコンサートのお会	
<b>内 容</b> 蘭島閣美術館や松濤園などの文化施設を軸として、特別展や蘭島閣ギャラリーコンサート、体験教室などの各種事業をとおして歴史記念物、芸術資料の保存、普及を図ると共に、住民の幅広い文化意識の向上と地域文化を創生するための場の提供を行う。	
課 題	対 策
「下蒲刈 文化と歴史の祭典」を代表とする特別展や「ふれあいコンサート」などへ積極的な誘客が求められる。	新聞、ホームページ、市政だよりを中心とした広報を積極的に行う。

(Ⅲ) 緑化推進の充実

i. 植樹・樹木管理

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈まちづくり協議会	
<p data-bbox="405 443 507 477">内 容</p> <p data-bbox="140 488 754 667">大津泊庭園や丸谷花壇等に植樹（植栽）を行うことで、住民の生活が豊かなものとなるよう図る。また、植樹後はその管理を徹底することにより、緑豊かな下蒲刈を末永く残す。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="140 891 754 958">植樹や管理を行う協力者が少なく、一部の者に対する負担が大きい。</p>	<p data-bbox="778 891 1393 1059">地域団体を通じて組織的な活動を展開するほか、植樹にちなんだイベントなどを開催して広く参加を呼びかける。また、収穫した果実等を利用した感謝祭なども実施して、植樹に対する関心を高める。</p>

## (Ⅳ) 世代間交流

### i. 成人式

主 体	時 期 (1月)
下蒲刈地区自治会連合会	
内 容	
<p>下蒲刈地区に居住する新成人へ地域をあげて祝福するとともに、新成人自身の地域を担う自負と地域社会の一員としての自覚を促す。</p>	
課 題	対 策
<p>参加する新成人が減少しているため、新成人に魅力的な成人式を行う必要がある。</p>	<p>成人式の企画運営に新成人に参加してもらい、地域住民・団体と連携し、幅広い世代の人が参加する成人式を行う。</p>

### ii. 子ども祭り

主 体	時 期 (4月・5月)
喜楽会	
内 容	
<p>大津泊で4月下旬から5月中旬まで鯉のぼりをあげ、5月5日に子ども祭りを開催することで、子どもの健やかな成長を願うとともに、幅広い世代の人との交流を行う。</p>	
課 題	対 策
<p>地域住民が多く参加し、幅広い世代の人が交流できるように取り組む必要がある。</p>	

## (I) 健康づくりの充実

### i. 健康づくりの推進

主 体	時 期 (通年)	
下蒲刈地区みんなで健康づくり推進協議会 下蒲刈ウォーキング等実行委員会		
<th data-bbox="138 434 778 488">内 容</th>		内 容
ウォーキング大会や健康づくり教室を開催し、運動を通じて健康づくりを推進する。	<th data-bbox="778 824 1420 882">対 策</th>	対 策
<th data-bbox="138 824 778 882">課 題</th>	課 題	
自分自身の健康に関心が低い人が多い。ウォーキング大会やウォーキングコースの認知度も低い。	健康講座の周知に努め、ウォーキング大会への参加を呼びかける。	

## (Ⅱ) 高齢者福祉の充実

### i. 敬老会

主 体	時 期 (9月)
下蒲刈地区社会福祉協議会	
<p data-bbox="419 443 520 477">内 容</p> <p data-bbox="137 488 762 593">高齢者に感謝の意を表し、長寿を祝うため、地区内の70歳以上の方を対象に食事と一緒に催し物を楽しんでもらう。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="137 882 751 952">運営に携わる団体の構成員が高齢化しており若年層が少ないこと。</p>	<p data-bbox="778 882 1393 987">下蒲刈地区社会福祉協議会が中心となり、様々な方策を通じて地域の世代間のふれあい向上を図っていく。</p>

### (Ⅲ) 交通事故の防止と安全対策の充実

#### i. 交通安全の推進

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈地区交通安全推進協議会 広交通安全協会下蒲刈支部	
<p style="text-align: center;"><b>内 容</b></p> 交通安全運動期間中におけるテント村、 保育所園児による交通安全パレード、毎月 1日に地区内巡回により交通事故防止を啓 発する。 また、交通安全自転車大会への出場で高 齢者、小中学生の交通安全への意識を高め る。	
課 題	対 策
迷惑駐車やスピード違反等の危険行為の 撲滅。	下蒲刈地区交通安全推進協議会が中心と なり、ドライバーに協力を求めるととも に、児童生徒への安全指導を行う。

## (Ⅳ) 防犯対策の充実

### i. 防犯灯の整備・維持・管理

主 体	時 期（通年）
下蒲刈地区自治会連合会	
<b>内 容</b> 夜間における犯罪の防止や、通行の安全を図るため、各自治会が防犯灯を設置し、維持管理している。	
課 題	対 策
防犯灯の球切れや修繕対応に時間がかかることもあるため、地区住民から催促のクレームがある。	自治会と市民センターが迅速な連携を取り、防犯灯の球切れや修理依頼の調整をする。

### ii. 防犯に対する意識の高揚

主 体	時 期（通年）
下蒲刈地区防犯組合連合会	
<b>内 容</b> 防犯に関する情報提供を連絡網等で地域全体に注意喚起する。高齢者を狙う振り込め詐欺の防止対策としては、広警察署と民生児童委員が連携を取り、詐欺防止のビラ配布や口コミを行う。子どもの安全確保として町内全域に「呉こども110番の家」の協力をお願いしている。	
課 題	対 策
下蒲刈地区防犯組合連合会としての活動が活発でないため、民生児童委員に協力・連携を依頼することが多く、民生児童委員の負担を増やしている。	犯罪発生時は、連絡網等で地域全体へ注意喚起する。 子どもの安全確保として民生児童委員（児童連絡会）が中心となり「呉こども110番の家」を定期的に見直していく。

## (V) 防災対策の充実

### i. 防災に対する意識の高揚

主 体	時 期 (通年)
自主防災会	
<p data-bbox="411 443 513 479">内 容</p> <p data-bbox="145 488 762 663">消防団等と連携し、訓練・研修など地域住民の防災意識を高める取り組みを行う。要援護者については、民生児童委員と連携し、災害時における援護体制の充実を図る。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="145 884 762 1021">自分の身を守るのは自分である、普段からいざというときの準備をしておくということを、全地域住民に強く意識してもらう。</p>	<p data-bbox="815 884 1273 920">各地で年1回、防災訓練を行う。</p>

## 8. 各種団体一覧

- ◇ 下蒲刈まちづくり協議会
- ◇ 下蒲刈町女性団体連合会  
    単位女性会（下島/大地蔵）
- ◇ 青年会（下島/三之瀬）
- ◇ 下蒲刈地区公衆衛生推進協議会
- ◇ 呉市第22区民生委員児童委員協議会
- ◇ 下蒲刈地区社会福祉協議会
- ◇ 下蒲刈地区みんなで健康づくり協議会
- ◇ 下蒲刈地区防犯組合連合会
- ◇ 下蒲刈地区交通安全推進協議会
- ◇ 広交通安全協会下蒲刈支部
- ◇ 下蒲刈地区青少年補導員連絡協議会
- ◇ 下蒲刈地区人権教育啓発推進協議会
- ◇ 下蒲刈町身体障害者福祉協議会
- ◇ 下蒲刈町文化協会
- ◇ 下蒲刈地区活動推進委員会
- ◇ 下蒲刈地区体育協会
- ◇ 下蒲刈町民文化祭実行委員会
- ◇ 梶ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会
- ◇ 下蒲刈地区とんど祭実行委員会
- ◇ 下蒲刈ウォーキング等実行委員会
- ◇ 下蒲刈地区自治会連合会  
    単位自治会（下島/三之瀬/大地蔵）
- ◇ 下蒲刈地区老人クラブ連合会  
    単位老人クラブ（下島/三之瀬/大地蔵）
- ◇ 呉市消防団下蒲刈地区隊  
    呉市消防団下蒲刈分団
- ◇ 蘭島文化振興財団
- ◇ 朝鮮通信使行列保存会
- ◇ 蘭島閣ギャラリーコンサートの会
- ◇ 下蒲刈地区観光協会
- ◇ 下島春蘭会
- ◇ 下蒲刈中学校PTA
- ◇ 下蒲刈小学校PTA
- ◇ 下蒲刈保育所保護者会
- ◇ 子ども会（下島/大地蔵）
- ◇ 育児サークル「陽気な場所」
- ◇ ひまわりグループ
- ◇ 下蒲刈漁業協同組合
- ◇ 下蒲刈樹木管理組合
- ◇ 呉農業協同組合下蒲刈支店 婦人部
- ◇ 八の日朝市の会
- ◇ NPO法人海駅三之関
- ◇ グランドゴルフ喜楽会



**Live for garden island**